



令和4年の新春を迎えて

コニカミノルタ株式会社 代表執行役社長 兼 CEO
山名昌衛 YAMANA, Shohei

令和4年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。
当協会の運営および活動に関しまして、平素より多大なご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

はじめに、いまだに全世界的に終息をみない新型コロナウイルスの感染蔓延拡大、および半導体の供給不足等さまざまな外部経営環境の悪化にもかかわらず、会員各社のみなさまにおかれまして不断の努力により企業経営を継続しておられることに改めて敬意を申し上げます。

新型コロナウイルスに関しましては、オミクロン変異株による感染の再拡大など新たな局面をむかえており、新型コロナウイルスと共生しながらの事業活動が今後も続くと感じております。その中で人々の生き方、働き方が変化し、ニューノーマルの時代に入ることおきましても、常に人々の仕事や暮らしに役立つバリューを出し、事業変革のスピードをさらに加速させ、この難局を乗り越えていきたいと思っております。

さて、バリューすなわち顧客価値を継続的に創出するためには、10年、20年先の社会の姿を洞察し、「未来のあるべき姿」から「今何を成すべきか」をバックキャストして導き出し、一方で、不透明な時代であるからこそ、時代を超えて受け継いできた各社のDNAのこだわるべき幹を、時代に合わせて再定義することが必要と考えます。日本企業（当協会）の強みである光工学・電子工学及び機械工学のこだわるべき幹を再度見定め、急速に進化するAI、5G等のデジタル技術との融合による新たな技術革新を活用し、DX時代に適した新たな価値の創出を協会メンバー一丸となり推進していきたいと考えます。

顧客価値を創出するのはいうまでもなく人財です。当協会の大きな目的の一つとして、技術人財育成活動があります。昨年度はWEBとオンサイトのハイブリッド開催を中心に、人財育成活動は継続して参りました。今後は、さらなる強化に向け講演や研修の関連団体との共同開催等も検討してまいります。引き続き、会員の皆様の御協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、令和4年が皆様にとって素晴らしい年になりますように、心よりお祈り申し上げますとともに、今後とも当協会への御支援、御協力をお願いしまして私の新年のご挨拶とさせていただきます。